

公益財団法人8020推進財団

令和4年度 歯科保健活動助成交付事業報告書抄録

1. 事業名: 認知症コホート調査における認知症と歯科疾患の関連研究

2. 申請者名: 田中文丸

3. 実施組織:

荒尾市歯科医師会/熊本大学大学院生命科学研究部歯科口腔外科学講座

4. 事業の概要:

2016年より2018年にかけて、日本の8地域において、「健康長寿社会の実現を目指した大規模認知症コホート研究」(JPSC-AD研究)が開始された。荒尾市は全国8地域の中で唯一、このJPSC-AD研究に付随する形で歯科検診を実施していた。2022年、研究開始から約5～6年後の健康状態、認知機能、運動機能に関する包括的追跡調査を行うこととなった。初回調査に引き続いて同コホート調査に参加し歯科検診を実施することとした。歯科検診を通じて口腔内環境の経時的変化に関する情報を収集した。また、初回コホート調査によって得られたベースラインデータの解析を行い、口腔内環境と認知症および全身フレイルとの関連性について検討を行った。

5. 事業の内容:

参加機関において検診に関する事前打ち合わせを行った後、歯科健診を10月1、2、15、16、29、30日、11月5、19、20日、12月3、4、17、18日に実施した。出務は荒尾市歯科医師会と熊本大学大学院生命科学研究部歯科口腔外科学講座が交代で行い、大きな問題はなく終了した。ベースラインデータの予備解析から、口腔内環境と認知症、全身フレイルとの強い相関が示唆された。

6. 実施後の評価(今後の課題):

今回の事業によって、『口腔内環境と高齢者の全身状態、認知機能』の関連性をリアルワールドで解析可能な、全国的にも類を見ないデータの収集ができた。横断的解析結果によって、口腔内環境と高齢者の全身状態、認知機能との関連性を明らかにするには時間を要するが、予備解析結果は口腔内環境と高齢者の全身状態、認知機能と強く相関していた。今後は研究成果を国際学術雑誌へ投稿するとともに、国民健康に資する社会政策へ向けて議論を深めていくことが課題である。